

3270 プリントサーバ

TCPLink 接続

Ver.5.06-00

リリースメモ

Windows、Windows Server および Excel は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本
およびその他の国における登録商標または商標です。

目次

| | |
|---------------------------|---|
| [Ver.5.06-00 での変更内容]..... | 1 |
|---------------------------|---|

[Ver.5.06-00 での変更内容]

| No | 概要 | VerUp 区分 | 変更区分 |
|----|--|-------------|-----------------|
| 1 | 以下の OS に対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2022 Standard ・ Windows Server 2022 Datacenter | 機能追加 | システム全般 |
| 2 | 以下の OS を動作対象から削除 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2012 Standard ・ Windows Server 2012 Datacenter ・ Windows Server 2012 R2 Standard ・ Windows Server 2012 R2 Datacenter | 仕様変更 | システム全般 |
| 3 | 0x7FFE 以降のホストコードに割り当てられている PC コードの初期値を、未定義を表す全角空白文字とする仕様に変更 | 仕様変更 | システム全般 |
| 4 | 0x7FFE 以降のホストコードに特定の PC コードの割り当てを行う機能を追加 本機能は、エミュレータのプロパティ「ソフトウェアスイッチ"Switch (157)"」で設定可能 | 機能追加 | システム全般 |
| 5 | バージョン情報に、アップデート情報としてパッチの管理番号を表示する機能を追加 | 機能追加 | システム全般 |
| 6 | ディスプレイセッションへの貼り付け時の動作を IBM 社製端末エミュレータ互換にする機能を追加 本機能は、エミュレータのプロパティ「ソフトウェアスイッチ"Switch (142)"」で設定可能 | 機能追加 | ディスプレイ セッション |

| No | 概要 | VerUp 区分 | 変更区分 |
|----|---|-------------|---------------|
| 7 | IBM 社製端末エミュレータとの互換性向上のため、プリンタのプロパティ「印刷開始イベント」の初期値を変更 変更前「フォームフィード」 ↓ 変更後「ブラケット」 | 仕様変更 | プリンタ セッション |
| 8 | エミュレータのプロパティ「通信設定」で、ゲートウェイ種別の選択内容を変更 また、ゲートウェイ種別で"その他"を選択時に、SYSREQ/ATTN の動作を選択できる機能を追加 | 仕様変更 | ツール |
| 9 | コードテーブル設定で 1 つのホストコードに対して複数の PC コード、1 つの PC コードに対して複数のホストコードの割り当てが行えるように対応 | 機能追加 | ツール |
| 10 | ファイル転送、および CJSBDX の送受信時のコード変換に使用する 1 バイトコードテーブルを、IBM 社製端末エミュレータ互換にする機能を追加 本機能は、エミュレータのプロパティ「ソフトウェアスイッチ"Switch (151)"」で設定可能 | 機能追加 | ファイル転送 |
| 11 | マクロ再生の開始、およびマクロ記録の開始時に、前回指定したフォルダを開くように仕様を変更 | 仕様変更 | マクロ |

| No | 概要 | VerUp 区分 | 変更区分 |
|----|--|-------------|-------------------|
| 12 | ホストコード (0xE9F3、0xE9F4、0xE9F5) を受信した場合、全角スペースで画面表示／印刷／ファイル転送される現象を修正 | バグ修正 | システム全般 |
| 13 | プリントジョブスケジューラの起動に失敗した場合、イベントログが出力されない現象を修正 | バグ修正 | システム全般 |
| 14 | 「SHIFT」+「F1」キーの押下で状況依存ヘルプを表示した場合、対象をクリック時に「応答なし」になる現象を修正 | バグ修正 | システム全般 |
| 15 | Windows のスタートアップに登録した場合、起動できないことがある現象を修正 | バグ修正 | ホストリンク エクスプローラ |
| 16 | プリントサーバをサービス登録後、「Host Link Explorer」サービスがエラーとなり、セッションが起動できないことがある現象を修正 | バグ修正 | ホストリンク エクスプローラ |
| 17 | ディスプレイセッションで、シフト文字 (SO、SI) を含む文字列をコピーし、テキストエディタ等に貼り付けを行うと、シフト文字が'空白'文字でなく'□'文字で表示されることがある現象を修正 | バグ修正 | ディスプレイ セッション |
| 18 | エミュレータ画面に Excel ファイルからデータを貼り付けて送信した場合、ホスト側プログラムでエラーが発生することがある現象を修正 | バグ修正 | ディスプレイ セッション |

| No | 概要 | VerUp 区分 | 変更区分 |
|----|---|-------------|-----------------|
| 19 | スタイル設定でディスプレイセッションのツールバーのスタイルを変更した直後、縦方向に1つのツールしか表示されない現象を修正 | バグ修正 | ディスプレイ セッション |
| 20 | ローカルコピー時にエラーが発生した場合、「セッション番号：0」の余計なイベントログが出力される現象を修正 | バグ修正 | ローカルコピー |
| 21 | 編集形式「印刷コマンドファイル」で、印刷ジョブ名の末尾に付加する連番が更新されず、同じ番号で出力される現象を修正 | バグ修正 | プリンタ セッション |
| 22 | ジョブクローズタイマーが動作すると、プリンタセッションでアプリケーションエラーが発生する可能性がある現象を修正 | バグ修正 | プリンタ セッション |
| 23 | 印刷コマンドファイル(PDF)による印刷で印刷位置ずれ、印刷抜けなどが発生する現象を修正 | バグ修正 | プリンタ セッション |
| 24 | エミュレータ監視ツールのプリンタ出力先とは異なるプリンタに印刷されることがある現象を修正 | バグ修正 | プリンタ セッション |
| 25 | UPF 設定ツールで、3270 以外のエミュレーションで作成されたUPF 設定ファイルを読み込んでもエラーにならない現象を修正 | バグ修正 | ツール |

| No | 概要 | VerUp 区分 | 変更区分 |
|----|---|-------------|------|
| 26 | UPF 設定ツールで以下の設定を変更後に、インストール後から変更されていない「UPFTBL32.UPF」ファイルを読み込むと、読み込み前の設定内容が表示されたままになる現象を修正 <ul style="list-style-type: none"> ・コメント欄 ・UPF 使用数 ・UPF パッドオートサイジング ・UPF パッドコメント表示 | バグ修正 | ツール |
| 27 | 「エミュレータのプロパティ」－「プリンタ定義」－「詳細設定」画面の「用紙の種別」で「連続用紙」を選択時、「単票時の自動改ページ」が設定不可にならない現象を修正 | バグ修正 | ツール |
| 28 | ファイル転送パネルのプロパティで「転送バッファサイズ」に最小値の"256"未満の値や最大値の"32000"を超える値を設定後、右側の「▼」/「▲」ボタンを押下すると"128"や"32767"が設定される現象を修正 | バグ修正 | ツール |
| 29 | エミュレータ監視ツールで表示内容を更新するとアプリケーションエラーになることがある現象を修正 | バグ修正 | ツール |
| 30 | コードテーブル設定で一覧表示を行った場合、一部の文字コードの表示に誤りがある現象を修正 | バグ修正 | ツール |

| No | 概要 | VerUp 区分 | 変更区分 |
|----|--|-------------|--------|
| 31 | ファイル転送時、転送パラメータファイルで設定したコード変換が有効とならない現象を修正 | バグ修正 | ファイル転送 |

| | |
|------------------------|--|
| No.12 | ホストコード（0xE9F3、0xE9F4、0xE9F5）を受信した場合、全角スペースで画面表示／印刷／ファイル転送される現象を修正 |
| 発生条件 | ホストコード：0xE9F3("ー")、0xE9F4("～")、0xE9F5("！")を含むデータを画面表示／印刷／ファイル転送した場合。 |
| 障害内容 | 対象の文字が全角スペースで画面表示／印刷／ファイル転送される。 |
| アップデート 未実施時の 回避策 | 特になし。 |

| | |
|------------------------|--|
| No.13 | プリントジョブスケジューラの起動に失敗した場合、イベントログが出力されない現象を修正 |
| 発生条件 | プリントジョブスケジューラの起動に失敗した場合。 |
| 障害内容 | イベントログが出力されない。 |
| アップデート 未実施時の 回避策 | 特になし。 |

| | |
|------------------------|---|
| No.14 | 「SHIFT」 + 「F1」 キーの押下で状況依存ヘルプを表示した場合、対象をクリック時に「応答なし」になる現象を修正 |
| 発生条件 | 「SHIFT」 + 「F1」 キーの押下により、マウスカーソルに「？」が表示された状態で、状況依存ヘルプの表示対象をクリックした場合。 |
| 障害内容 | 以下のプログラムがフリーズする。 <ul style="list-style-type: none"> ・「プリンタセッション」 ・「プリントジョブスケジューラ」 ・「マクロコントローラ」 ・「UPF 設定」 |
| アップデート 未実施時の 回避策 | ツールバーの「↑?(ヘルプ)」ボタンを使用して状況依存ヘルプを表示する。 |

| | |
|----------------|---|
| No.15 | Windows のスタートアップに登録した場合、起動できないことがある現象を修正 |
| 発生条件 | Windows のスタートアップにホストリンクエクスプローラ、またはセッション起動のショートカットに登録した場合。 |
| 障害内容 | Windows のログオン時に自動起動ができない。 |
| アップデート未実施時の回避策 | 手動による起動。 |

| | |
|----------------|--|
| No.16 | プリントサーバをサービス登録後、「Host Link Explorer」サービスがエラーとなり、セッションが起動できないことがある現象を修正 |
| 発生条件 | 以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2019 以降を使用 ・ ローカルセキュリティポリシーのセキュリティオプションで「ユーザアカウント制御: 管理者承認モードですべての管理者を実行する」を「無効」に設定 ・ プリントサーバをサービス登録で使用 |
| 障害内容 | セッションが起動できないため、印刷業務が行えない。 |
| アップデート未実施時の回避策 | 「ユーザアカウント制御: 管理者承認モードですべての管理者を実行する」を「有効」に設定し、OS を再起動後、プリントサーバをサービス登録する。 |

| | |
|----------------|--|
| No.17 | ディスプレイセッションで、シフト文字（SO、SI）を含む文字列をコピーし、テキストエディタ等に貼り付けを行うと、シフト文字が' 空白' 文字でなく ' □ ' 文字で表示されることがある現象を修正 |
| 発生条件 | ディスプレイセッションでシフト文字（SO、SI）を含む文字列をコピーした場合。 |
| 障害内容 | テキストエディタ等に貼り付けを行うと、シフト文字（SO、SI）が' 空白' 文字とならず、' □ ' 文字で示される。 |
| アップデート未実施時の回避策 | 特になし。 |

| | |
|------------------------|--|
| No.18 | エミュレータ画面に Excel ファイルからデータを貼り付けて送信した場合、ホスト側プログラムでエラーが発生することがある現象を修正 |
| 発生条件 | エミュレータ画面に復帰コード(0x0D)や改行コード(0x0A)を含むデータを貼り付けて、ホストに送信した場合。 |
| 障害内容 | エミュレータ画面に復帰コード(0x0D)や改行コード(0x0A)が入力されてホストに送信される。 |
| アップデート 未実施時の 回避策 | 特になし。 |

| | |
|------------------------|---|
| No.19 | スタイル設定でディスプレイセッションのツールバーのスタイルを変更した直後、縦方向に1つのツールしか表示されない現象を修正 |
| 発生条件 | 以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・ディスプレイセッションで、ツールバーをボタンが縦に並ぶように配置 ・スタイル設定でディスプレイセッションのツールバーのボタンを追加、または削除 |
| 障害内容 | 表示されていないツールをツールバーから起動できない。 |
| アップデート 未実施時の 回避策 | ディスプレイセッションで、ツールバーをボタンが横に並ぶように配置する。 |

| | |
|------------------------|--|
| No.20 | ローカルコピー時にエラーが発生した場合、「セッション番号：0」の余計なイベントログが出力される現象を修正 |
| 発生条件 | ローカルコピー時にエラーが発生した場合。 |
| 障害内容 | 「セッション番号：0」の余計なイベントログが出力される。 |
| アップデート 未実施時の 回避策 | 特になし。 |

| | |
|------------------------|--|
| No.21 | 編集形式「印刷コマンドファイル」で、印刷ジョブ名の末尾に付加する連番が更新されず、同じ番号で出力される現象を修正 |
| 発生条件 | 編集形式「印刷コマンドファイル」を設定している場合。 |
| 障害内容 | 同じ印刷ジョブ名で出力される。 |
| アップデート 未実施時の 回避策 | 特になし。 |

| | |
|------------------------|---|
| No.22 | ジョブクローズタイマーが動作すると、プリンタセッションでアプリケーションエラーが発生する可能性がある現象を修正 |
| 発生条件 | ホストからの印刷データが複数レコードで分割され、印刷データ待ち状態となりジョブクローズタイマーが動作した場合。 |
| 障害内容 | アプリケーションエラーが発生し印刷できない。 |
| アップデート 未実施時の 回避策 | 特になし。 |

| | |
|------------------------|--|
| No.23 | 印刷コマンドファイル(PDF)による印刷で印刷位置ずれ、印刷抜けなどが発生する現象を修正 |
| 発生条件 | 編集形式「印刷コマンドファイル」で印刷を行った場合。 |
| 障害内容 | 印刷位置ずれ、印刷抜けなどが発生し、正常に印刷されない。 |
| アップデート 未実施時の 回避策 | 特になし。 |

| | |
|----------------|---|
| No.24 | エミュレータ監視ツールのプリンタ出力先とは異なるプリンタに印刷されることがある現象を修正 |
| 発生条件 | <p>プリンタセッション起動中に以下のいずれかの方法でプリンタ出力先を変更した場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ツールパネル」-「エミュレータのプロパティ」でプリンタ定義の「基本設定」-「出力先」が「通常使うプリンタ」に設定された状態で、Windows の「デバイスとプリンター」から既定のプリンタを変更 ・「ツールパネル」-「エミュレータのプロパティ」から、プリンタ定義の「基本設定」-「出力先」の設定を変更 |
| 障害内容 | エミュレータ監視ツールに表示されているプリンタ出力先と異なるプリンタに印刷される。 |
| アップデート未実施時の回避策 | プリンタセッション起動中に、プリンタ出力先を変更しない。 |

| | |
|----------------|--|
| No.25 | UPF 設定ツールで、3270 以外のエミュレーションで作成された UPF 設定ファイルを読み込んでもエラーにならない現象を修正 |
| 発生条件 | UPF 設定ツールで、3270 以外のエミュレーションで作成した UPF 設定ファイルを読み込んだ場合。 |
| 障害内容 | UPF 設定ファイルの読み込みエラーとならず、UPF 設定が更新可能となる。 |
| アップデート未実施時の回避策 | 特になし。 |

| | |
|----------------|---|
| No.26 | <p>UPF 設定ツールで以下の設定を変更後に、インストール後から変更されていない「UPFTBL32.UPF」ファイルを読み込むと、読み込み前の設定内容が表示されたままになる現象を修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメント欄 ・UPF 使用数 ・UPF パッドオートサイジング ・UPF パッドコメント表示 |
| 発生条件 | <p>以下の設定を変更後に、インストール後から変更されていない「UPFTBL32.UPF」ファイルを読み込んだ場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメント欄 ・UPF 使用数 ・UPF パッドオートサイジング ・UPF パッドコメント表示 |
| 障害内容 | 読み込み前に設定した内容が表示されたままとなる。 |
| アップデート未実施時の回避策 | 設定内容を「消去」ボタンで消去する。 |

| | |
|----------------|---|
| No.27 | <p>「エミュレータのプロパティ」－「プリンタ定義」－「詳細設定」画面の「用紙の種別」で「連続用紙」を選択時、「単票時の自動改ページ」が設定不可にならない現象を修正</p> |
| 発生条件 | <p>以下のいずれかを行った場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エミュレータのプロパティ」－「プリンタ定義」－「詳細設定」画面の「用紙の種別」で「連続用紙」を選択し、エミュレータのプロパティを再起動した場合 ・「エミュレータのプロパティ」－「プリンタ定義」－「詳細設定」画面の「用紙の種別」で「連続用紙」を選択し、プリンタ定義の「基本設定」画面で「編集形式」を変更した場合 |
| 障害内容 | 「エミュレータのプロパティ」ツールで、「詳細設定」画面の「用紙の種別」を「連続用紙」に選択しているが、「単票時の自動改ページ」が設定可能となる。 |
| アップデート未実施時の回避策 | 特になし。 |

| | |
|----------------|---|
| No.28 | ファイル転送パネルのプロパティで 「転送バッファサイズ」に最小値の"256"未満の値や最大値の"32000"を超える値を設定後、右側の「▼」/「▲」ボタンを押下すると"128"や"32767"が設定される現象を修正 |
| 発生条件 | 以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・「転送バッファサイズ」に最小値の"256"未満の値、または最大値の"32000"を超える値を設定 ・「転送バッファサイズ」右側の「▼」/「▲」ボタンを押下 |
| 障害内容 | 入力支援機能で最小値未満の値や最大値を超える値が入力される。 |
| アップデート未実施時の回避策 | 「転送バッファサイズ」に"256"~"32000"の間の値を直接入力する。 |

| | |
|----------------|--|
| No.29 | エミュレータ監視ツールで表示内容を更新するとアプリケーションエラーになることがある現象を修正 |
| 発生条件 | エミュレータ監視ツールで、「F5」キーを押下して表示内容を更新した場合。 |
| 障害内容 | エミュレータ監視ツールが操作中に突然終了する。 プリントサーバの動作に影響はない。 |
| アップデート未実施時の回避策 | エミュレータ監視ツールの表示内容の更新に、「F5」キーではなく、「自動更新」機能を使用する。 |

| | |
|----------------|--|
| No.30 | コードテーブル設定で一覧表示を行った場合、一部の文字コードの表示に誤りがある現象を修正 |
| 発生条件 | コードテーブル設定で、「1バイトコードの編集」、および「英小文字拡張」を選択し、ディスプレイ、またはプリンタのコードテーブルを一覧表示した場合。 |
| 障害内容 | コードテーブル上の一部の文字コードが誤って表示される。 実際のコード変換自体に誤りはない。 |
| アップデート未実施時の回避策 | 特になし。 |

| | |
|----------------|--|
| No.31 | ファイル転送時、転送パラメータファイルで設定したコード変換が有効とならない現象を修正 |
| 発生条件 | <p>以下の条件をすべて満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイル転送パネルからファイル転送を実行 ・転送パラメータファイルにコード変換テーブルの差分ファイルを指定 ・前回のファイル転送で使用したコード変換テーブルの差分ファイルとは異なる差分ファイルを使用 ・ファイル転送パネルから転送パラメータファイルを開いた後、ファイル転送パネルのオプションメニューの「現在の状態を保存」を行わずファイル転送を実行 ・ファイル転送パネルから転送パラメータファイルを開いた後、ファイル転送パネルのプロパティの更新を行わずファイル転送を実行 |
| 障害内容 | 転送パラメータファイルのコード変換の設定と異なる文字でファイルが転送される。 |
| アップデート未実施時の回避策 | <p>以下のいずれかを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイル転送パネルから転送パラメータファイルを開いた後、ファイル転送パネルのオプションメニューの「現在の状態を保存」を行ってからファイル転送を実行 ・ファイル転送パネルから転送パラメータファイルを開いた後、ファイル転送パネルのプロパティの更新を行ってからファイル転送を実行 ・転送パラメータファイルで設定した文字コード変換テーブルの差分ファイルが、前回、「終了時の状態を保存」を有効にした状態でファイル転送パネルを終了した時と同じになるようにしてからファイル転送を実行 |

3270 プリントサーバ

TCPLink 接続

Ver5.04-02

リリースメモ

Windows および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

目次

| | |
|---------------------------|---|
| [Ver.5.04-02 での変更内容]..... | 1 |
|---------------------------|---|

[Ver.5.04-02 での変更内容]

| No | 概要 | VerUp 区分 | 変更区分 |
|----|--|-------------|---------------------|
| 1 | 以下の OS に対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2016 Standard ・ Windows Server 2016 Datacenter ・ Windows Server 2019 Standard ・ Windows Server 2019 Datacenter | 機能追加 | システム全般 |
| 2 | 以下の OS を動作対象から削除 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2008 Standard Edition SP2 ・ Windows Server 2008 Enterprise Edition SP2 ・ Windows Server 2008 R2 Standard Edition SP1 ・ Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition SP1 | 仕様変更 | システム全般 |
| 3 | Windows イベントログ (Application) に、プリントサーバシステムのイベントメッセージを出力する機能を追加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 起動・終了 ・ 通信状態 ・ プリンタセッションのメッセージ情報 ・ プリントサーバシステム情報 | 機能追加 | システム全般 |
| 4 | 対応するホストコードを 0x4141~0x7FFE から 0x4141~0xFEFE に変更 | 機能追加 | システム全般 |
| 5 | プリントサーバシステムのサービス以外の実行モジュールが実行中の場合は、アンインストールできない仕様に変更 | 仕様変更 | インストーラ/ アンインストーラ |
| 6 | サービスで起動中のプリントサーバをアンインストールする場合、サービスの停止、サービス登録の解除を行い、アンインストールを続行することが選択できる機能を追加 | 機能追加 | インストーラ/ アンインストーラ |

| No | 概要 | VerUp 区分 | 変更区分 |
|----|---|-------------|---------------------------|
| 7 | 印刷コマンドファイル(Print Command File:PCF)の作成・変更、および設定方法を示した、『印刷コマンドファイル・リファレンスマニュアル』をマスター CD-ROM に追加 | 機能追加 | プリンタ セッション/ ローカルコピー |
| 8 | エミュレータのプロパティ「通信設定」－「セッション設定」リストビューの” LU 名” に、「TN3270E プロトコル使用」時の「デバイス名」を表示するように対応 | 機能追加 | ツール |

| No | 概要 | VerUp 区分 | 変更区分 |
|----|--|-------------|---------------------|
| 9 | インストール時、「設定の確認」画面の[戻る]ボタンで「ショートカットを選択」画面に戻った場合、「ショートカットを選択」画面でオフに変更していたチェックボックスがオンに戻る現象を修正 | バグ修正 | インストーラ/ アンインストーラ |
| 10 | プリントサーバのアンインストール失敗後、再びプリントサーバのアンインストーラを実行しようとしても、実行することができない現象を修正 | バグ修正 | インストーラ/ アンインストーラ |
| 11 | 3270 と 5250 の共存環境でシステム終了を行うと、ディスプレイセッション終了処理途中で停止する可能性がある現象を修正 | バグ修正 | ホストリンク エクスプローラ |
| 12 | ホストリンクエクスプローラの右側ウィンドウからツールが起動できない現象を修正 | バグ修正 | ホストリンク エクスプローラ |
| 13 | ホストリンクエクスプローラのプロパティで、「高度な設定」の「「エミュレータのプロパティ」の表示」チェックがオフの場合、プロパティメニューが選択不能（グレー表示）にならない現象を修正 | バグ修正 | ホストリンク エクスプローラ |
| 14 | ディスプレイセッションの半角英数のフィールドでIMEが全角になる現象を修正 | バグ修正 | ディスプレイ セッション |
| 15 | ディスプレイセッションに表示される文字が粗く見える現象を修正 | バグ修正 | ディスプレイ セッション |

| No | 概要 | VerUp 区分 | 変更区分 |
|----|---|-------------|---------------|
| 16 | エミュレータのプロパティのプリンタ定義で不正なコードテーブル差分ファイルを設定後、プリントサーバシステムをサービス起動すると、印刷ができない現象を修正 | バグ修正 | プリンタ セッション |
| 17 | 編集形式が「印刷コマンドファイル」の場合、最大印刷行数の行に、次行に印刷されるべき罫線が印刷される現象を修正 | バグ修正 | プリンタ セッション |
| 18 | ダイレクト印刷で、1行余分に改行される現象を修正 | バグ修正 | プリンタ セッション |
| 19 | 編集形式が「印刷コマンドファイル」で最大印刷行数に 255 が設定されている場合、255 行ごとに改ページの値が出力される現象を修正 「最大印刷行数」 ・ PCF ファイルの場合 「PageLength」 ・ PDF ファイルの場合 「MAXIMUM_PAGE_LENGTH」 | バグ修正 | プリンタ セッション |
| 20 | 編集形式が「印刷コマンドファイル」で NULL オーダーをブランク印刷する設定を無効にしている場合、印刷が途中で止まる現象を修正 「NULL オーダーをブランク印刷する設定を無効」 ・ PCF ファイルの場合 「NULLtoSPACE=NO」 ・ PDF ファイルの場合 「OVERRIDE_FORMATTED_PRINT=NO」 | バグ修正 | プリンタ セッション |

| No | 概要 | VerUp 区分 | 変更区分 |
|----|--|-------------|---------------|
| 21 | <p>編集形式が「印刷コマンドファイル」で可変飛び越しコマンドが設定されていない場合、印刷位置が右にずれることがある現象を修正</p> <p>「可変飛び越しコマンド」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PCF ファイルの場合 「ForwardHorizontalSkip」 ・ PDF ファイルの場合 「FORWARD_HORIZONTAL_SKIP」 | バグ修正 | プリンタ セッション |
| 22 | <p>編集形式が「印刷コマンドファイル」で改行ピッチ (2LPI)コマンドが設定されていない場合、プリンタセッションでアプリケーションエラーとなる現象を修正</p> <p>「改行ピッチ (2LPI)コマンド」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PCF ファイルの場合 「Set2LPI」 ・ PDF ファイルの場合 「SET_2_LINES_PER_INCH」 | バグ修正 | プリンタ セッション |
| 23 | <p>編集形式が「印刷コマンドファイル」で改ページコマンドが設定されている場合、改ページコマンドが出力されない現象を修正</p> <p>「改ページコマンド」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PCF ファイルの場合 「FormFeed」 ・ PDF ファイルの場合 「FORM_FEED」 | バグ修正 | プリンタ セッション |

| No | 概要 | VerUp 区分 | 変更区分 |
|----|---|-------------|---------------------------|
| 24 | 編集形式が「印刷コマンドファイル」の場合、Windows の外字を印刷すると、外字以外に点のような汚れが印刷される現象を修正 | バグ修正 | プリンタ セッション/ ローカルコピー |
| 25 | 編集形式が「印刷コマンドファイル」でパラメータ設定値が YES/NO の項目に対し、それ以外の値が設定された印刷コマンドファイル(*.PCF、*.PDF)を使用すると、印刷が行われない現象を修正 | バグ修正 | プリンタ セッション/ ローカルコピー |
| 26 | 編集形式が「印刷コマンドファイル」でプリンタ種別が ESC/P の場合、ローカルコピーを行うと、外字部分の下線が印刷されない現象を修正 「プリンタ種別が ESC/P」 <ul style="list-style-type: none"> ・ PCF ファイルの場合 「DeviceType=003」 ・ PDF ファイルの場合 「PRINTER_ID=ESCP」 | バグ修正 | ローカルコピー |

| No | 概要 | VerUp 区分 | 変更区分 |
|----|---|-------------|------|
| 27 | 「エミュレータのプロパティ」の「プリンタ定義」、または「ローカルコピー設定」の「基本設定」で、31文字以上のプリンタ名を指定した場合、出力先プリンタのプロパティの設定が保存されない現象を修正 | バグ修正 | ツール |
| 28 | 「サービス設定」ツールの画面で、項目名”パスワードの確認”の誤記を修正 | バグ修正 | ツール |
| 29 | コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう現象を修正 | バグ修正 | ツール |
| 30 | コードテーブル設定で、PCコードの入力指定に”区点 JIS コード”を設定し文字コード変換の「登録」を行うと、登録確認メッセージに区点 JIS コードが正しく表示されない現象を修正 | バグ修正 | ツール |

| No | 概要 | VerUp 区分 | 変更区分 |
|----|---|-------------|------|
| 31 | 「エミュレータのプロパティ」の状況依存ヘルプの誤記を修正 「nLPI の印刷方式」－「行数基準」の有効範囲の上限 誤：128 行 正：255 行 | 説明修正 | ヘルプ |
| 32 | ガイドラインメッセージ「プログラムチェック 753」に関するヘルプの誤記を修正 | 説明修正 | ヘルプ |

| | |
|------------------------|--|
| No.9 | インストール時、「設定の確認」画面の[戻る]ボタンで「ショートカットを選択」画面に戻った場合、「ショートカットを選択」画面でオフに変更していたチェックボックスがオンに戻る現象を修正 |
| 発生条件 | 以下の操作を行った場合。 ①「ショートカットの選択」画面でチェックボックスをオフに変更 ②「設定の確認」画面に遷移 ③「ショートカットの選択」画面に戻る |
| 障害内容 | 「ショートカットの選択」画面でオフに変更していたチェックボックスがオンに戻る。 |
| アップデート 未実施時の 回避策 | 「ショートカットの選択」画面で設定内容を再設定する。 |

| | |
|------------------------|---|
| No.10 | プリントサーバのアンインストール失敗後、再びプリントサーバのアンインストールを実行しようとしても、実行することができない現象を修正 |
| 発生条件 | プリントサーバのアンインストールを実行し、アンインストールに失敗した場合。 |
| 障害内容 | プリントサーバのアンインストールができない。 |
| アップデート 未実施時の 回避策 | OS 再起動後、再インストールを行い、プリントサーバシステムがすべて停止した状態で、再度アンインストールを行う。 |

| | |
|----------------|---|
| No.11 | 3270 と 5250 の共存環境でシステム終了を行うと、ディスプレイセッション終了処理途中に停止する現象がある現象を修正 |
| 発生条件 | 3270、5250 の各ディスプレイセッションを起動した状態で、3270、あるいは 5250 のディスプレイセッション、またはプリンタセッションからシステム終了した場合。 |
| 障害内容 | プリントサーバが終了できない場合がある。 |
| アップデート未実施時の回避策 | 特になし。 |

| | |
|----------------|---|
| No.12 | ホストリンクエクスプローラの右側ウィンドウからツールが起動できない現象を修正 |
| 発生条件 | ホストリンクエクスプローラで以下の手順を実行した場合。 ①「ツール」メニューから「保守ユーティリティ」を起動 ②右側ウィンドウから「データ転送設定」、または「データ転送」を起動 |
| 障害内容 | ホストリンクエクスプローラの右側ウィンドウから「データ転送システム設定」、または「データ転送パネル」が起動できない。 下記メッセージが表示される。 「ツールの起動に失敗しました。(WinExec)」 |
| アップデート未実施時の回避策 | 「エミュレータ保守」の終了後に、「データ転送設定」、または「データ転送」を起動する。 |

| | |
|----------------|--|
| No.13 | ホストリンクエクスプローラのプロパティで、「高度な設定」の「「エミュレータのプロパティ」の表示」チェックがオフの場合、プロパティメニューが選択不能（グレー表示）にならない現象を修正 |
| 発生条件 | ホストリンクエクスプローラのプロパティにある「高度な設定」の「カスタマイズ」タブで、「エミュレータのプロパティ」の表示」のチェックがオフの場合。 |
| 障害内容 | 「エミュレータのプロパティ」を非表示に設定できない。 |
| アップデート未実施時の回避策 | 特になし。 |

| | |
|----------------|--|
| No.14 | ディスプレイセッションの半角英数のフィールドで IME が全角になる現象を修正 |
| 発生条件 | 以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・「エミュレータのプロパティ」で「FEP 自動起動」「FEP 自動終了」設定がオン ・画面内に FEP が全角に変わるデータが含まれている ・画面データ受信直後、半角フィールド上にカーソルがある ・FEP が全角に変わるデータを処理してから、最後に FEP が半角に変わるデータを処理するまで 15 ミリ秒以内 |
| 障害内容 | 半角英数フィールドにカーソルがある場合でも、IME が全角入力モードになる。 |
| アップデート未実施時の回避策 | IME のモードを変更してから入力する。 |

| | |
|------------------------|-----------------------------------|
| No.15 | ディスプレイセッションに表示される文字が粗く見える現象を修正 |
| 発生条件 | 「MS 明朝」のようなセリフ付きフォントが選択されている場合。 |
| 障害内容 | ディスプレイの表示文字を拡大すると文字が粗く見える。 |
| アップデート 未実施時の 回避策 | フォントを「MS ゴシック」のようなセリフなしフォントに変更する。 |

| | |
|------------------------|--|
| No.16 | エミュレータのプロパティのプリンタ定義で不正なコードテーブル差分ファイルを設定後、プリントサーバシステムをサービス起動すると、印刷ができない現象を修正 |
| 発生条件 | 以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・プリントサーバシステムをサービスで起動 ・エミュレータのプロパティのプリンタ定義で不正なコードテーブル差分ファイルを設定 |
| 障害内容 | 印刷要求しても印刷されない。 |
| アップデート 未実施時の 回避策 | 正しいコードテーブル差分ファイルを設定する。 |

| | |
|------------------------|---|
| No.17 | 編集形式が「印刷コマンドファイル」の場合、最大印刷行数の行に、次行に印刷されるべき罫線が印刷される現象を修正 |
| 発生条件 | 以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・編集形式が「印刷コマンドファイル」 ・最大印刷行の次行に罫線が存在するデータを受信 |
| 障害内容 | 罫線が1つ上の行に印刷される。 |
| アップデート 未実施時の 回避策 | 特になし。 |

| | |
|------------------------|---|
| No.18 | ダイレクト印刷で、1行余分に改行される現象を修正 |
| 発生条件 | 以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・編集形式が「印刷コマンドファイル」以外 ・Vertical Tab オーダーを受信 |
| 障害内容 | 1行余分に改行される。 |
| アップデート 未実施時の 回避策 | 特になし。 |

| | |
|------------------------|---|
| No.19 | <p>編集形式が「印刷コマンドファイル」で最大印刷行数に 255 が設定されている場合、255 行ごとに改ページの値が出力される現象を修正</p> <p>「最大印刷行数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PCF ファイルの場合 「PageLength」 ・ PDF ファイルの場合 「MAXIMUM_PAGE_LENGTH」 |
| 発生条件 | <p>以下の条件をすべて満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 編集形式が「印刷コマンドファイル」 ・ 印刷コマンドファイル(*.PCF、*.PDF)の最大印刷行数に 255 を設定 |
| 障害内容 | <p>255 行を超えた場合に、「印刷コマンドファイル」に設定されている復帰と改行の値ではなく、改ページの値が出力される。</p> <p>「改ページ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PCF ファイルの場合 「FormFeed」 ・ PDF ファイルの場合 「FORM_FEED」 <p>「復帰」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PCF ファイルの場合 「CarriageReturn」 ・ PDF ファイルの場合 「CARRIAGE_RETURN」 <p>「改行」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PCF ファイルの場合 「LineFeed」 ・ PDF ファイルの場合 「LINE_FEED」 |
| アップデート 未実施時の 回避策 | 特になし。 |

| | |
|----------------|--|
| No.20 | <p>編集形式が「印刷コマンドファイル」で NULL オーダーをブランク印刷する設定を無効にしている場合、印刷が途中で止まる現象を修正</p> <p>「NULL オーダーをブランク印刷する設定を無効」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PCF ファイルの場合 「NULLtoSPACE=NO」 ・ PDF ファイルの場合 「OVERRIDE_FORMATTED_PRINT=NO」 |
| 発生条件 | <p>以下の条件をすべて満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 編集形式が「印刷コマンドファイル」 ・ 印刷コマンドファイル(*.PCF、*.PDF)の NULL オーダーをブランク印刷する設定が無効 ・ NULL オーダーが存在するデータを受信 |
| 障害内容 | 印刷が途中で止まる。 |
| アップデート未実施時の回避策 | 特になし。 |

| | |
|----------------|--|
| No.21 | <p>編集形式が「印刷コマンドファイル」で可変飛び越しコマンドが設定されていない場合、印刷位置が右にずれることがある現象を修正</p> <p>「可変飛び越しコマンド」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PCF ファイルの場合 「ForwardHorizontalSkip」 ・ PDF ファイルの場合 「FORWARD_HORIZONTAL_SKIP」 |
| 発生条件 | <p>以下の条件をすべて満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 編集形式が「印刷コマンドファイル」 ・ 印刷コマンドファイル(*.PCF、*.PDF)の可変飛び越しコマンドが設定されていない ・ Line Feed オーダー、または Vertical Tab オーダーが存在するデータを受信 |
| 障害内容 | Line Feed オーダー、または Vertical Tab オーダー受信直後の印刷位置が右にずれる。 |
| アップデート未実施時の回避策 | 印刷コマンドファイル(*.PCF、*.PDF)の可変飛び越しコマンドを設定する。 |

| | |
|----------------|--|
| No.22 | <p>編集形式が「印刷コマンドファイル」で改行ピッチ (2LPI)コマンドが設定されていない場合、プリンタセッションでアプリケーションエラーとなる現象を修正</p> <p>「改行ピッチ (2LPI)コマンド」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PCF ファイルの場合 「Set2LPI」 ・ PDF ファイルの場合 「SET_2_LINES_PER_INCH」 |
| 発生条件 | <p>以下の条件をすべて満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 編集形式が「印刷コマンドファイル」 ・ 印刷コマンドファイル(*.PCF、*.PDF)の改行ピッチ (2LPI)コマンドが設定されていない ・ Set Line Density オーダーが存在するデータを受信 |
| 障害内容 | <p>プリンタセッションでアプリケーションエラーが発生する。</p> |
| アップデート未実施時の回避策 | <p>印刷コマンドファイル(*.PCF、*.PDF)の改行ピッチ (2LPI)コマンドを設定する。</p> |

| | |
|----------------|---|
| No.23 | <p>編集形式が「印刷コマンドファイル」で改ページコマンドが設定されている場合、改ページコマンドが出力されない現象を修正</p> <p>「改ページコマンド」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PCF ファイルの場合 「FormFeed」 ・ PDF ファイルの場合 「FORM_FEED」 |
| 発生条件 | <p>以下の条件をすべて満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 編集形式が「印刷コマンドファイル」 ・ 印刷コマンドファイル(*.PCF、*.PDF)の改ページコマンドが設定されている ・ 次ページの印刷データの直前に Form Feed オーダーが存在するデータを受信 |
| 障害内容 | <p>改ページコマンドが出力されないため、用紙が排出されず同じ用紙に続けて印刷される。</p> |
| アップデート未実施時の回避策 | <p>特になし。</p> |

| | |
|----------------|--|
| No.24 | 編集形式が「印刷コマンドファイル」の場合、Windows の外字を印刷すると、外字以外に点のような汚れが印刷される現象を修正 |
| 発生条件 | 以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・編集形式が「印刷コマンドファイル」 ・外字が存在するデータを受信 |
| 障害内容 | 外字以外に点のような汚れが印刷される。 |
| アップデート未実施時の回避策 | 特になし。 |

| | |
|----------------|---|
| No.25 | 編集形式が「印刷コマンドファイル」でパラメータ設定値が YES/NO の項目に対し、それ以外の値が設定された印刷コマンドファイル(*.PCF、*.PDF)を使用すると、印刷が行われない現象を修正 |
| 発生条件 | 以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・編集形式が「印刷コマンドファイル」 ・印刷コマンドファイル(*.PCF、*.PDF)のコマンド設定値が YES/NO の項目に対し、それ以外の値を設定 |
| 障害内容 | 以下の状況になり印刷が行われない。 <ダイレクト印刷の場合> メッセージ欄に「PCF 読み込みエラー」が表示される。 <ローカルコピーの場合> ガイドラインに「現在プリンター作動不能 (DC キー)」が表示される、またはアプリケーションエラーとなる。 |
| アップデート未実施時の回避策 | 印刷コマンドファイル(*.PCF、*.PDF)に正しい値を設定する。 |

| | |
|----------------|---|
| No.26 | <p>編集形式が「印刷コマンドファイル」でプリンタ種別が ESC/P の場合、ローカルコピーを行うと、外字部分の下線が印刷されない現象を修正</p> <p>「プリンタ種別が ESC/P」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PCF ファイルの場合 「DeviceType=003」 ・ PDF ファイルの場合 「PRINTER_ID=ESCP」 |
| 発生条件 | <p>以下の条件をすべて満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 編集形式が「印刷コマンドファイル」 ・ 印刷コマンドファイル(*.PCF、*.PDF)のプリンタ種別に ESC/P が設定されている ・ 「外字+下線」が表示された画面でローカルコピー |
| 障害内容 | <p>外字部分の下線が印刷されない。</p> |
| アップデート未実施時の回避策 | <p>特になし。</p> |

| | |
|----------------|---|
| No.27 | <p>「エミュレータのプロパティ」の「プリンタ定義」、または「ローカルコピー設定」の「基本設定」で、31 文字以上のプリンタ名を指定した場合、出力先プリンタのプロパティの設定が保存されない現象を修正</p> |
| 発生条件 | <p>以下の条件をすべて満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 編集形式が「Windows プリンタドライバ」 ・ プリンタ名が 31 文字以上 ・ 詳細設定の「セッション起動時に出力先プリンタ設定の反映」をチェックし、プリンタドライバ設定を保存 |
| 障害内容 | <p>印刷時、プリンタドライバの設定が有効とならない。</p> |
| アップデート未実施時の回避策 | <p>プリンタ名を 30 文字以内に変更する。</p> |

| | |
|----------------|--|
| No.28 | 「サービス設定」ツールの画面で、項目名”パスワードの確認”の誤記を修正 |
| 発生条件 | サービス設定「サービスの登録」、または「サービス設定の変更」画面を表示した場合。 |
| 障害内容 | サービス設定「サービスの登録」画面、および「サービス設定の変更」画面の表示に誤記がある。 <誤> パスワードの確認(R) <正> パスワードの確認(R) |
| アップデート未実施時の回避策 | 特になし。 |

| | |
|----------------|---|
| No.29 | コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう現象を修正 |
| 発生条件 | コードテーブル設定で以下の手順を実行した場合。 ①テーブルの最後の数文字（2バイトコード：2文字、1バイトコード：4文字）の割り当てを変更 ②「ファイル」メニューから「新規作成」を選択して差分ファイルを新規作成 |
| 障害内容 | コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう。 |
| アップデート未実施時の回避策 | 「新規作成」で継続して設定を行う代わりに、一旦コードテーブル設定を再起動してから設定を行う。 |

| | |
|------------------------|---|
| No.30 | コードテーブル設定で、PC コードの入力指定に” 区点 JIS コード” を設定し文字コード変換の「登録」を行うと、登録確認メッセージに区点 JIS コードが正しく表示されない現象を修正 |
| 発生条件 | PC コードの入力指定が” 区点 JIS コード” で、文字コード変換の登録を行う場合。 |
| 障害内容 | 登録確認メッセージに不正なコードで区点 JIS コードが表示される。 |
| アップデート 未実施時の 回避策 | 特になし。 |

| | |
|-------|--|
| No.31 | 「エミュレータのプロパティ」の状況依存ヘルプの誤記を修正 |
| 変更内容 | ローカルコピー、およびプリンタ設定の「nLPI の印刷方式」の状況依存ヘルプの誤記を修正。 「nLPI の印刷方式」－「行数基準」の有効範囲の上限 誤：128 行 正：255 行 |
| 参照先 | 「エミュレータのプロパティ」の下記の状況依存ヘルプ内容に誤記がある。 ・「セッション設定」タブ－「ローカルコピー設定」 「基本設定」タブ－「nLPI の印刷方式」 ・「プリンタ定義」タブ 「プリンタ定義」を選択－ [設定] ボタン 「基本設定」タブ－「nLPI の印刷方式」 |

| | |
|-------|--|
| No.32 | ガイドラインメッセージ「プログラムチェック 753」に関するヘルプの誤記を修正 |
| 変更内容 | 「プログラムチェック 753」の説明に誤りがある。 <誤> SFE、MF 副指令で無効な属性または値が指定されています。 <正> SA、SFE、MF 副指令で無効な属性または値が指定されています。 |
| 参照先 | リファレンスマニュアルの「オンラインヘルプ」－「ディスプレイセッション」－「ガイドラインメッセージ」－「プログラムチェック」の「プログラムチェック 753」 |

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

**3270 プリントサーバ
TCPLink 接続
バージョン 5.01 リビジョン01 /PS 変更内容について**

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「3270 プリントサーバ (TCPLink 接続)」
(Ver.4.10-01/PS→Ver.5.01-01/PS) において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS を動作対象から除きました。
 - ・ Microsoft Windows Server 2003
 - ・ Microsoft Windows Server 2003 x64
 - ・ Microsoft Windows Server 2003 R2
 - ・ Microsoft Windows Server 2003 R2 x64

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ◎セッションを起動するショートカットをデスクトップに作成できるようにしました。

[TCPLink 関連]

- ◎エミュレータのプロパティの「通信設定」－「詳細設定」の「ネットワーク異常監視」を「telnet キープアライブ」に名称変更し、コマンドとタイマを設定できるようにしました。また、「キープアライブ」を「TCP/IP キープアライブ」に名称変更しました。

[ディスプレイ機能関連]

- ◎画面サイズが変更された場合、指定されているフォントサイズを基準にウィンドウサイズを拡大／縮小して表示できるようにしました。

[プリンタ機能関連]

- ◎IBM 製 Personal Communications のプリンタセッションで使用する PDF ファイルを利用できるようにしました。

[保守機能関連]

- ◎ 「エミュレータ保守」の保守機能を強化しました。
また、各種ツールの保守機能を「エミュレータ保守」に統合しました。
- <主な機能>
- ・各種トレースの採取設定
 - ・各種トレースの詳細設定（ファイルサイズ、ファイル数、採取レベル）
 - ・各種ログの採取
 - ・トレース／ログの総出力サイズ、および出力先ドライブの空き容量の表示
 - ・情報収集
- これにより、エミュレータのプロパティの「保守設定画面」は削除しました。

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[インストーラ関連]

- ・以下の OS でインストールパスを変更してインストールすると、スタート画面からホストリンクエクスプローラが起動できない。
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 Standard
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 Datacenter
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter
- ・バージョンアップインストールを行うと、正常にインストールが完了しているにもかかわらず、「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります」というメッセージが表示されることがある。

[ディスプレイ機能関連]

- ・IMEの種類によって、以下の機能でカナ入力モード(キーボードのひらがなの刻印)に切り替わらない。
「カナモード」「カナ R 切替」機能キー
- ・英小文字拡張で以下の文字を入力しようとする、「英小文字セットのみ入力可能」と表示され入力できない。

| PC コード | | 表示される文字 |
|--------|---|---------|
| 0xFD | → | ┌ |
| 0xFE | → | ＼ |
| 0xFF | → | ～ |

[プリンタ機能関連]

- ・プリンタ定義で出力先を「通常使うプリンタ」に設定している場合に、プリンタセッションで「終了時の状態保存」を ON にしてプリンタセッションを終了し、OS の「通常使うプリンター」を削除／名称変更するとプリンタセッションが起動できない。
- ・「グラフィック・ローカルコピーのカラー印刷」を行わない設定で、背景色が白以外の場合にグラフ印刷を行うと、画面のところどころにブロック状の図形が印刷される。
- ・エミュレータのプロパティで文字モードが英小文字拡張に設定されている場合の表示／印字結果が、IBM 製 Personal Communications と異なっている。

| ホストコード | | PC コード |
|--------|---|--------|
| A0 | → | 7E(┌) |
| A1 | → | FF(～) |

- ・ 80 バイト以上のプリンタ名のプリンタを使用すると、アプリケーションエラーが発生する。
※使用するプリンタのプリンタ名は、79 バイト以内で設定してください。
- ・ 出力先プリンタに ClassDriver を設定した場合、プリンタセッションの起動に失敗する。

[ユーティリティ関連]

- ・ コード変換テーブル（送信：JIS83→ホスト）の初期値の誤りを修正しました。
対象 JIS コード：0x8D3F～0x8D48、0x8D4E～0x8D57、0x9175、0x917A
- ・ プリントジョブスケジューラ設定でプリントジョブ出力後の処理に「指定時間後に削除」を指定しているにもかかわらず、設定した指定時間を過ぎた情報が残ることがある。

[保守機能関連]

- ・ レジストリ保守ツールで [ファイル出力] をした場合、以下の項目が出力されない。
 - ・ IPv6
 - ・ マクロコントローラの表示

[オンラインヘルプ]

- ・ エミュレータ監視ツールのオプションダイアログで、状況依存ヘルプが表示されない項目がある。

[制限事項]

- ・ Ver.4.10-01/PS より前のバージョンのプリントサーバとの共存はできません。
- ・ TCPLink スタンダード/DirectLink との共存はできません。

[その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

サーバ仮想化

| 仮想化システム | ゲスト OS | 32 ビット | 64 ビット |
|--------------------------------|---|--------|--------|
| VMware vSphere 5.5 | Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard | — | ○ |
| Windows Server 2012 R2 Hyper-V | Microsoft Windows Server 2008 Standard SP2 | ○ | — |
| | Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard SP1 | — | ○ |
| | Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard | — | ○ |

○：確認済み —：対象外

<前提条件>

仮想環境での利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作する必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

**3270 プリントサーバ
TCPLink 接続
バージョン 4.10 リビジョン01 /PS 変更内容について**

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「3270 プリントサーバ(TCPLink 接続)」(Ver.4.02-01/PS→Ver.4.10-01/PS)
において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

[概要]

- ・弊社社名変更に伴い、関連する表記を修正しました。

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS に対応しました。
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 Datacenter
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 Standard
- ※32 ビット版アプリケーションとして動作します。
- ※デスクトップ・アプリケーションとしての動作を保証します。
- ※Windows Server 2012 の Server Core 機能での動作には対応していません。
- ※Windows Server 2012 の最小サーバー・インターフェイス構成での動作は保証していません。

- ◎IPv6 に対応しました。

[プリンタ機能関連]

- ◎編集形式が「テキスト」の場合、通常のフォントにはない以下の文字をスペースではなく代替文字で出力するようにしました。

| | 代替文字 |
|---------------------|------|
| ・ (PC コード : 0x7F) | → |
| ・ ~ (PC コード : 0xFF) | → ~ |

[ディスプレイ機能関連]

- ◎以下の画面サイズをサポートしました。
 - ・ 27×132
 - ・ 62×160

◎以下の機能キーをサポートしました。

- ・後退(BS)
- ・タブワード
- ・後退タブワード
- ・挿入切替
- ・範囲移動↑
- ・範囲移動↓
- ・範囲移動←
- ・範囲移動→
- ・フィールド消去

※以下の機能には対応していません。

- ・ディスプレイセッションのツールボタン
- ・UPF
- ・エミュレータキーパッド

◎「挿入」キーの名称を「挿入オン」に変更しました。

◎ローカルコピーにおいて、編集形式が「テキスト」の場合、通常のフォントにはない以下の特殊文字をスペースではなく代替文字で出力するようにしました。

代替文字

- ・ | (PCコード: 0x7F) → |
- ・ ~ (PCコード: 0xFF) → ~

[ユーティリティ関連]

◎エミュレータのプロパティにおいて、通信設定の送受信バッファの初期値を「4096」に変更しました。

◎エミュレータのプロパティにおいて、ディスプレイ定義のカラー設定の初期設定でメインフレームメーカーの純正エミュレータと同じ色に設定できるようにしました。

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[インストール関連]

- ・ Ver.3.50-01 以上へのバージョンアップインストール時に移行項目として選択されたにもかかわらず、エミュレータのプロパティの設定以外の項目を移行せずに初期化してしまう。

※旧バージョンで新規作成されたキーアサインファイルおよび UPF 設定ファイルは除く。

[ディスプレイ機能関連]

- ・ SDI 形式の場合、UPF キーパッドから「ジャンプ」キーまたは「前ジャンプ」キーが実行されると、セッションがハングアップする。
- ・ SDI 形式の場合、UPF キーパッドのボタンが押下されると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・ SDI 形式の場合、エミュレータキーパッドから機能キーの実行および文字の入力が行われると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・ ローカルコピーで、ディスプレイ定義で設定された文字モードと異なる文字モードで印刷することがある。
- ・ ディスプレイのプロパティでグラフィック設定のグラフィックデータストリームでの解像度の設定が変更されても、セッションに変更内容を反映しない。
- ・ エミュレータのプロパティでディスプレイ定義のカラー設定が出荷時設定から変更されていない場合、無保護フィールドの背景色を初期設定の黒色ではなく黄色や赤色で表示することがある。

- ・アプリケーションに OLE オブジェクトとして埋め込んだセッションでキーが効かないことがある。
- ・アプリケーションに OLE オブジェクトとして埋め込んだセッションに入力された文字を画面が再描画されるまで表示しない。

[ユーティリティ関連]

- ・リモート接続時など、エミュレータ監視ツールが二重起動されるとどちらも起動することがある。さらに、二重起動により、"HLEXPL32.EXE"のアプリケーションエラーが発生することがある。
- ・リモート接続時など、サービス設定ツールとエミュレータ監視ツールが同時に起動されるとどちらも起動することがある。
- ・エミュレータスタイルの設定のツールバータブにおいて、以下のショートカットキーでフォーカスが正しく移動しない。
 - ・ Alt+L
 - ・ Alt+B
 - ・ Alt+T
- ・レジストリ保守ツールの印刷機能およびファイル出力機能で、ソフトウェアスイッチの情報を正しく出力しないことがある。

以 上

Microsoft および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

**3270 プリントサーバ
TCPLink 接続
バージョン 4.02 リビジョン01 /PS 変更内容について**

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「3270 プリントサーバ(TCPLink 接続)」(Ver.4.01-02/PS→Ver.4.02-01/PS)
において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS を動作対象から除きました。
- ・ Windows 2000 Server

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[システム全般]

- ・ ホストコード (6D82、7278) との対応づけに誤りがあったため、JIS78、JIS83、JIS90 について次のように修正しました。

| | | |
|--------|---|-----------------------|
| ホストコード | | JIS コード (シフト JIS コード) |
| 6D82 | → | 876A (F48A) |
| 7278 | → | 916A (F98A) |
- ・ エミュレータが起動されたまま OS をシャットダウンすると、「プログラムが閉じられていません」のメッセージが表示され、メッセージ内の「強制的にシャットダウン」を選択するとアプリケーションエラーが発生する。

[TCPLink 関連]

- ・ TN3270E 接続で、チェーン分割されたデータを受信し続けると、データを受信できなくなる。

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ・ Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 で、管理者権限のないユーザがホストリンクエクスプローラを起動した状態でサービスの一覧から「Host Link Explorer」を開始すると、ホストリンクエクスプローラが二重起動する。

[ディスプレイ機能関連]

- ・ プリンクモードが“プリリンク”の場合に、ディスプレイセッションが応答しなくなることがある。
- ・ グラフを含むデータを受信すると、プログラムチェック 781 等が表示される。

- Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 で以下の条件をすべて満たす場合に、文字を入力すると、下線の一部や文字と隣り合った縦罫線が消えることがある。
 - Windows のデスクトップのカスタマイズで「ClearType」を有効にしている
 - エミュレータのディスプレイ定義で「直接描画方式」を指定している

[ユーティリティ関連]

- エミュレータのプロパティのディスプレイ定義で、コードテーブル定義の「JIS コード指定」が空欄になっていることがある。
- レジストリ保守で、レジストリの復元に失敗することがある。
- レジストリ保守で「Microsoft XPS Document Writer」に印刷すると、文字化けする。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

**3270 プリントサーバ
TCPLink 接続
バージョン 4.01 リビジョン02 /PS 変更内容について**

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「3270 プリントサーバ(TCPLink 接続)」(Ver.3.50-01/PS→Ver.4.01-02/PS)
において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

概要

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS に対応しました。
 - ・ Windows Server 2008 Standard Edition
 - ・ Windows Server 2008 Standard x64 Edition
 - ・ Windows Server 2008 Enterprise Edition
 - ・ Windows Server 2008 Enterprise x64 Edition

[プリンタ機能関連]

- ◎編集形式が IBM5575/5577 の場合、最大印刷行数 255 行まで印刷できるようにしました。

[ユーティリティ関連]

- ◎リモートデスクトップ接続でも「コンソール・セッション」へ接続することなく、エミュレータ監視ツールを操作できるようにしました。

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ・ホストリンクエクスプローラの非表示起動、またはエミュレータ終了時の自動終了を設定している場合、エミュレータ監視ツールから最後のセッションを終了した後、セッションが起動できなくなる。

[プリンタ機能関連]

- ・「プリンタセッション終了」のメッセージボックス表示中に、ディスプレイセッションからエミュレータ終了すると、アプリケーションエラーが発生する。

[ディスプレイ機能関連]

- ・セッション終了時、アプリケーションエラーが発生することがある。

[ユーティリティ関連]

- ・異なるプリンタドライバを同じプリンタ名で入れ替えた場合、エミュレータのプロパティのプリンタ定義を開こうとすると、"Lodlib32.exe"のアプリケーションエラーが発生する。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

3270 プリントサーバ
DirectLink DLC対応版
バージョン 5.01 リビジョン01 /PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「3270 プリントサーバ (DirectLink DLC 対応版)」
(Ver.4.10-01/PS→Ver.5.01-01/PS) において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

記

[システム全般]

- ◎以下の OS に対応しました。
- ・ Microsoft Windows Server 2012 Standard
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 Datacenter
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter

- ◎以下の OS を動作対象から除きました。
- ・ Microsoft Windows Server 2003
 - ・ Microsoft Windows Server 2003 x64
 - ・ Microsoft Windows Server 2003 R2
 - ・ Microsoft Windows Server 2003 R2 x64

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ◎セッションを起動するショートカットをデスクトップに作成できるようにしました。

[DirectLink(DLC 接続)関連]

- ◎CJSDLC ドライバが NDIS6.0 に対応しました。
- ◎以下の操作を行った際に、LAN アダプタのアダプタ番号が変更されないようにしました。
- ・ NIC(Network Interface Card)の着脱、または有効/無効の切り替え
 - ・ 「CJS DLC プロトコル」の有効/無効の切り替え ※1
- ※1：Windows Server 2008 の場合はローカル エリア接続のプロパティで、
Windows Server 2012 の場合はイーサネットのプロパティで設定します。

[プリンタ機能関連]

- ◎IBM 製 Personal Communications のプリンタセッションで使用する PDF ファイルを利用できるようにしました。

[ツール関連]

- ◎CJSDLC ドライバ保守ツールのアダプタ番号表示画面に、CJSDLC ドライバの状態を表示するようにしました。

◎CJSDLC ドライバ保守ツールにサービス画面を追加し、以下の操作をできるようにしました。

- ・ CJSDLC ドライバの開始／停止
- ・ CJSDLC ドライバのファイル情報の参照

[保守機能関連]

◎「エミュレータ保守」の保守機能を強化しました。

また、各種ツールの保守機能を「エミュレータ保守」に統合しました。

<主な機能>

- ・各種トレースの採取設定
- ・各種トレースの詳細設定（ファイルサイズ、ファイル数、採取レベル）
- ・各種ログの採取
- ・イベントログの設定（出力レベル）
- ・エラーログの設定（ファイルサイズ、ファイル数）
- ・トレース／ログの総出力サイズ、および出力先ドライブの空き容量の表示
- ・情報収集

これにより、エミュレータのプロパティの「保守設定画面」、および CJSDLC ドライバ保守の「トレース設定画面」は削除しました。

◎DLC 接続のスローダウンの発生状況をイベントログに出力するようにしました。

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[インストーラ関連]

- ・バージョンアップインストールを行うと、正常にインストールが完了しているにもかかわらず、「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります」というメッセージが表示されることがある。

[DirectLink(DLC 接続)関連]

- ・ DLC 接続で、送信ができず「お待ちください」が表示されたままになることがある。
- ・ トレース出力によるディスク I/O 処理で遅延が発生した場合に、通信が切断されることがある。
- ・ DLC 接続で、受信したコマンドのフレームタイプではなく、常に 802.3 形式と Ethernet V2 形式の両フレームタイプで TEST レスポンスおよび XID レスポンスを送信する。

[ディスプレイ機能関連]

- ・ IME の種類によって、以下の機能でカナ入力モード(キーボードのひらがなの刻印)に切り替わらない。
「カナモード」「カナ R 切替」機能キー
- ・ 英小文字拡張で以下の文字を入力しようとする、「英小文字セットのみ入力可能」と表示され入力できない。

| PC コード | | 表示される文字 |
|--------|---|---------|
| 0xFD | → | ┌ |
| 0xFE | → | └ |
| 0xFF | → | ~ |

[プリンタ機能関連]

- ・ プリンタ定義で出力先を「通常使うプリンタ」に設定している場合に、プリンタセッションで「終了時の状態保存」を ON にしてプリンタセッションを終了し、OS の「通常使うプリンター」を削除／名称変更するとプリンタセッションが起動できない。

- ・「グラフィック・ローカルコピーのカラー印刷」を行わない設定で、背景色が白以外の場合にグラフ印刷を行うと、画面のところどころにブロック状の図形が印刷される。
- ・エミュレータのプロパティで文字モードが英小文字拡張に設定されている場合の表示／印字結果が、IBM 製 **Personal Communications** と異なっている。

| ホストコード | PC コード |
|--------|---------|
| A0 | → 7E(□) |
| A1 | → FF(~) |
- ・80 バイト以上のプリンタ名のプリンタを使用すると、アプリケーションエラーが発生する。
※使用するプリンタのプリンタ名は、79 バイト以内で設定してください。

[ユーティリティ関連]

- ・コード変換テーブル（送信：JIS83→ホスト）の初期値の誤りを修正しました。
対象 JIS コード：0x8D3F~0x8D48、0x8D4E~0x8D57、0x9175、0x917A
- ・プリントジョブスケジューラ設定でプリントジョブ出力後の処理に「指定時間後に削除」を指定しているにもかかわらず、設定した指定時間を過ぎた情報が残ることがある。

[保守機能関連]

- ・レジストリ保守ツールで [ファイル出力] をした場合、以下の項目が出力されない。
 - ・通信システム設定項目
 - ・マクロコントローラの表示

[オンラインヘルプ]

- ・エミュレータ監視ツールのオプションダイアログで、状況依存ヘルプが表示されない項目がある。

[制限事項]

- ・Ver.4.10-01/PS より前のバージョンのプリントサーバとの共存はできません。
- ・TCPLink スタンダード/DirectLink との共存はできません。
- ・TCPLink ゲートウェイサーバとの共存はできません。
- ・5250 プリントサーバ DirectLink DLC 対応版との同時利用はできません。

[その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

サーバ仮想化

| 仮想化システム | ゲスト OS | 32 ビット | 64 ビット |
|--------------------------------|---|--------|--------|
| VMware vSphere 5.5 | Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard | — | ○ |
| Windows Server 2012 R2 Hyper-V | Microsoft Windows Server 2008 Standard SP2 | ○ | — |
| | Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard SP1 | — | ○ |
| | Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard | — | ○ |

○：確認済み —：対象外

<注意事項>

・DLC 接続について

- (1)弊社の確認作業では、VMware vSphere の仮想 NIC のタイプが「e1000」および「e1000e」の場合、通信が不安定になる現象が発生しました。VMware vSphere では、仮想 NIC のタイプを「vmxnet3」に設定することを推奨します。
- (2)チーミングした複数の仮想 NIC が同一の仮想スイッチに紐付けされている場合、ホストからの受信データが重複します。仮想スイッチと仮想 NIC は、1 対 1 となるように構成してください。
- (3)Windows Server 2012/2012 R2 で Hyper-V 上の仮想マシンにプリントサーバ(DLC 接続)稼働環境を構築する場合、マイクロソフト社が提供する修正プログラムを以下のページからダウンロードしてホスト OS に適用する必要があります。
<http://support.microsoft.com/kb/2902821>
- (4)CPU 数は 2 以上に設定することを推奨します。

<前提条件>

仮想環境での利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作している必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

3270 プリントサーバ
DirectLink DLC対応版
バージョン 4.10 リビジョン01 /PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「3270 プリントサーバ (DirectLink DLC 対応版)」
(Ver.4.02-01/PS→Ver.4.10-01/PS) において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

記

[概要]

- ・弊社社名変更に伴い、関連する表記を修正しました。

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[プリンタ機能関連]

- ◎編集形式が「テキスト」の場合、通常のフォントにはない以下の文字をスペースではなく代替文字で出力するようにしました。

| | 代替文字 |
|---------------------|------|
| ・ (PC コード : 0x7F) | → |
| ・ ~ (PC コード : 0xFF) | → ~ |

[ディスプレイ機能関連]

- ◎以下の機能キーをサポートしました。

- ・ 後退(BS)
- ・ タブワード
- ・ 後退タブワード
- ・ 挿入切替
- ・ 範囲移動↑
- ・ 範囲移動↓
- ・ 範囲移動←
- ・ 範囲移動→
- ・ フィールド消去

※以下の機能には対応していません。

- ・ ディスプレイセッションのツールボタン
- ・ UPF
- ・ エミュレータキーパッド

- ◎「挿入」キーの名称を「挿入オン」に変更しました。

- ◎ローカルコピーにおいて、編集形式が「テキスト」の場合、通常のフォントにはない以下の特殊文字をスペースではなく代替文字で出力するようにしました。

| | 代替文字 |
|---------------------|------|
| ・ (PC コード : 0x7F) | → |
| ・ ~ (PC コード : 0xFF) | → ~ |

[ユーティリティ関連]

- ◎エミュレータのプロパティにおいて、ディスプレイ定義のカラー設定の初期設定でメインフレームメーカーの純正エミュレータと同じ色に設定できるようにしました。

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[インストール関連]

- ・ Ver.3.50-01 以上へのバージョンアップインストール時に移行項目として選択されたにもかかわらず、エミュレータのプロパティの設定以外の項目を移行せずに初期化してしまう。
※旧バージョンで新規作成されたキーマシンファイルおよび UPF 設定ファイルは除く。

[DirectLink(DLC 接続)関連]

- ・ SABME コマンドを受信後に XID コマンドを送信しようとすることにより、通信チェック 510 から遷移しないことがある。
- ・ ネットワークの状態の切り替えにより、ブルースクリーンが表示されることがある。

[ディスプレイ機能関連]

- ・ SDI 形式の場合、UPF キーパッドから「ジャンプ」キーまたは「前ジャンプ」キーが実行されると、セッションがハングアップする。
- ・ SDI 形式の場合、UPF キーパッドのボタンが押下されると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・ SDI 形式の場合、エミュレータキーパッドから機能キーの実行および文字の入力が行われると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・ ローカルコピーで、ディスプレイ定義で設定された文字モードと異なる文字モードで印刷することがある。
- ・ ディスプレイのプロパティでグラフィック設定のグラフィックデータストリームでの解像度の設定が変更されても、セッションに変更内容を反映しない。
- ・ エミュレータのプロパティでディスプレイ定義のカラー設定が出荷時設定から変更されていない場合、無保護フィールドの背景色を初期設定の黒色ではなく黄色や赤色で表示することがある。
- ・ アプリケーションに OLE オブジェクトとして埋め込んだセッションでキーが効かないことがある。
- ・ アプリケーションに OLE オブジェクトとして埋め込んだセッションに入力された文字を画面が再描画されるまで表示しない。

[ユーティリティ関連]

- ・ リモート接続時など、エミュレータ監視ツールが二重起動されるとどちらも起動することがある。
さらに、二重起動により、"HLEXPL32.EXE"のアプリケーションエラーが発生することがある。
- ・ リモート接続時など、サービス設定ツールとエミュレータ監視ツールが同時に起動されるとどちらも起動することがある。
- ・ エミュレータスタイルの設定のツールバータブにおいて、以下のショートカットキーでフォーカスが正しく移動しない。
 - ・ Alt+L
 - ・ Alt+B
 - ・ Alt+T

- ・レジストリ保守ツールの印刷機能およびファイル出力機能で、ソフトウェアスイッチの情報を正しく出力しないことがある。

以 上

作成日：2012年 9月 4日

更新日：2015年 4月 2日

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

3 2 7 0 プリントサーバ
DirectLink DLC対応版
バージョン 4.02 リビジョン01 /PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「3270 プリントサーバ (DirectLink DLC 対応版)」
(Ver.4.01-02/PS→Ver.4.02-01/PS) において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS を動作対象から除きました。
 - ・ Windows 2000 Server

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[システム全般]

- ・ ホストコード (6D82、7278) との対応づけに誤りがあったため、JIS78、JIS83、JIS90 について次のように修正しました。

| ホストコード | | JIS コード (シフト JIS コード) |
|--------|---|-----------------------|
| 6D82 | → | 876A (F48A) |
| 7278 | → | 916A (F98A) |

- ・ エミュレータが起動されたまま OS をシャットダウンすると、「プログラムが閉じられていません」のメッセージが表示され、メッセージ内の「強制的にシャットダウン」を選択するとアプリケーションエラーが発生する。

[インストール関連]

- ・ Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 で、DLC プロトコルドライバのインストール時に「プログラム互換性アシスタント」の警告が表示される。

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ・ Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 で、管理者権限のないユーザがホストリンクエクスプローラを起動した状態でサービスの一覧から「Host Link Explorer」を開始すると、ホストリンクエクスプローラが二重起動する。

[ディスプレイ機能関連]

- ・ プリンクモードが“プリリンク”の場合に、ディスプレイセッションが応答しなくなることがある。

- ・グラフを含むデータを受信すると、プログラムチェック 781 等が表示される。
- ・Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 で以下の条件をすべて満たす場合に、文字を入力すると、下線の一部や文字と隣り合った縦罫線が消えることがある。
 - ・Windows のデスクトップのカスタマイズで「ClearType」を有効にしている
 - ・エミュレータのディスプレイ定義で「直接描画方式」を指定している

[ユーティリティ関連]

- ・エミュレータのプロパティのディスプレイ定義で、コードテーブル定義の「JIS コード指定」が空欄になっていることがある。
- ・レジストリ保守で、レジストリの復元に失敗することがある。
- ・レジストリ保守で「Microsoft XPS Document Writer」に印刷すると、文字化けする。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

3 2 7 0 プリントサーバ
DirectLink DLC対応版
バージョン 4.01 リビジョン02 /PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「3270 プリントサーバ (DirectLink DLC 対応版)」
(Ver.3.50-01/PS→Ver.4.01-02/PS) において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

概要

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS に対応しました。
- ・ Windows Server 2008 Standard Edition
 - ・ Windows Server 2008 Standard x64 Edition
 - ・ Windows Server 2008 Enterprise Edition
 - ・ Windows Server 2008 Enterprise x64 Edition

[プリンタ機能関連]

◎編集形式が IBM5575/5577 の場合、最大印刷行数 255 行まで印刷できるようにしました。

[ユーティリティ関連]

◎リモートデスクトップ接続でも「コンソール・セッション」へ接続することなく、エミュレータ監視ツールを操作できるようにしました。

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ・ホストリンクエクスプローラの非表示起動、またはエミュレータ終了時の自動終了を設定している場合、エミュレータ監視ツールから最後のセッションを終了した後、セッションが起動できなくなる。

[プリンタ機能関連]

- ・「プリンタセッション終了」のメッセージボックス表示中に、ディスプレイセッションからエミュレータ終了すると、アプリケーションエラーが発生する。

[ディスプレイ機能関連]

- ・セッション終了時、アプリケーションエラーが発生することがある。

[ユーティリティ関連]

- ・異なるプリンタドライバを同じプリンタ名で入れ替えた場合、エミュレータのプロパティのプリンタ定義を開こうとすると、"Lodlib32.exe"のアプリケーションエラーが発生する。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

3270 プリントサーバ
DirectLink HIS対応版
バージョン 4.01 リビジョン02 /PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「3270 プリントサーバ (DirectLink HIS 対応版)」
(Ver.2.50-01/PS→Ver.4.01-02/PS) において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

概要

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[プリンタ機能関連]

◎編集形式が IBM5575/5577 の場合、最大印刷行数 255 行まで印刷できるようにしました。

[ユーティリティ関連]

◎リモートデスクトップ接続でも「コンソール・セッション」へ接続することなく、エミュレータ監視ツールを操作できるようにしました。

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

・ホストリンクエクスプローラの非表示起動、またはエミュレータ終了時の自動終了を設定している場合、エミュレータ監視ツールから最後のセッションを終了した後、セッションが起動できなくなる。

[プリンタ機能関連]

・「プリンタセッション終了」のメッセージボックス表示中に、ディスプレイセッションからエミュレータ終了すると、アプリケーションエラーが発生する。

[ディスプレイ機能関連]

・セッション終了時、アプリケーションエラーが発生することがある。

[ユーティリティ関連]

・異なるプリンタドライバを同じプリンタ名で入れ替えた場合、エミュレータのプロパティのプリンタ定義を開こうとすると、「Lodlib32.exe」のアプリケーションエラーが発生する。

以 上